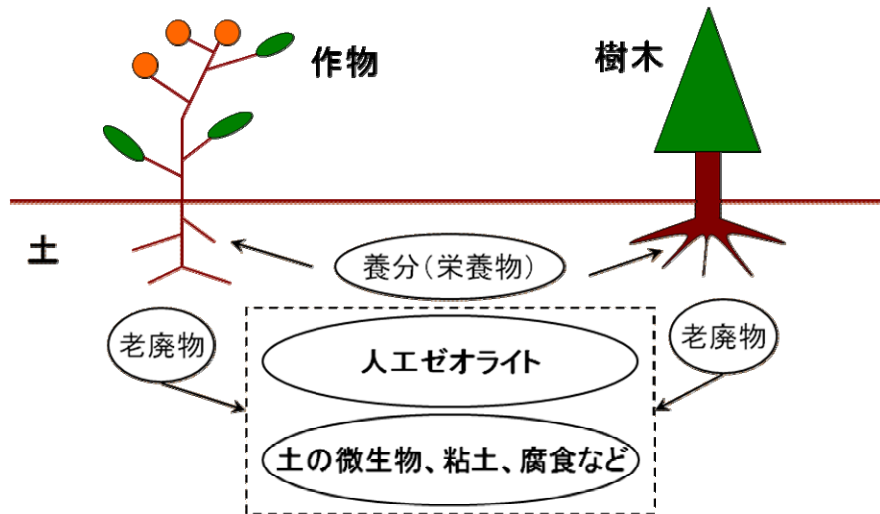


「人工ゼオライトで、土に力をつける」

作物や樹木など、植物が、よく育つ土と、そうでない土があります。植物を栽培するにあたって、土のよしあしのことを地力と呼んでいます。地力は、土の化学性と物理性が、深くかかわっています。化学性は、酸性の度合い、どんな成分がどれくらい存在するかということ、養分の持ちやすさなどの性質のことです。土の硬さや柔らかさ、水をかけ流した時のしみ込み

やすさ(透水性)、水の含みやすさ(保水性)、空気の入りやすさや、通りやすさ(通気性)などの性質が物理性です。「土の改良」というのは、農耕地や森林の土の化学性と物理性を改善することによって、地力を高めることなのです。土の改良は、収穫を増やし、農作物の安定な供給をはかるため、や、森林生態系を健全に保つために、大切です。

人工ゼオライトを利用した、農業用の製品がかなり出てきております。製品のいくつかにつきましては、ホームページでも紹介されています。農業分野での利用は、人工ゼオライトによって、土の働きを改良することが基本となっています。土の中の働き「もの」を助けて強くするのが人工ゼオライトです。働き「もの」は、土の中の微生物、粘土、腐植などであり、化学性や物理性を良好に保つことで、作物や樹木に養分を与えたり、出てくる老廃物を取り除いたりしています(第1図を参照して下さい)。つまり、人工ゼオライトは、吸着やイオン交換と呼ばれる役立つ機能を持っていますので、土の働き「もの」を、助けて、さらに能力を引き出すことで、土を改良できるのです。



人工ゼオライトは、土の微生物、粘土、腐食などの働きを強化します。
その結果、地力が大きくなります。

土の微生物、粘土、腐食などは、人工ゼオライトと一緒に、作物
や樹木に養分を与え、老廃物を取り除きます。

第1図